

第74期
中間報告書

平成25年4月1日▶平成25年9月30日

CONTENTS

- 01 株主のみなさまへ/業績の推移
- 03 当第2四半期連結累計期間の概況
- 05 連結財務諸表
- 07 株式の概況/会社概況
- 10 株主メモ

株主のみなさまへ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別なご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第74期中間決算(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)が確定いたしましたので、ご挨拶をかね、ここに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

昨年度の3カ年中期経営計画では『5』の達成、即ち連結売上高500億円、同経常利益率5%、配当5円を定量目標に掲げましたが、結果的に初年度にそれを達成することができました。これを受け、今年度の3カ年中期経営計画では目標を『7』に引き上げ、連結売上高700億円、同経常利益率7%を新たな指標に設定いたしました。その初年度となる今期については、航空機内装品事業におけるボーイング787向け製品の初期開発費負担が最も重い年度でもあり、この中期目標を目指す上で『踏ん張りに変化の年』と位置付け、グループ丸となって種々の施策に取り組んでいるところであります。

航空機内装品事業では787プログラムの効率的な増産体制の構築、たゆまぬ原価低減努力に加えて、航空機用旅客シートの事業を第4の収益の柱にするべく取り組みを進めております。航空機器製造事業では、熱交換器ビジネスの収益の拡大、ボーイングへの炭素繊維構造部材(ADP)の拡販、新型エンジン向け部品の新規受注に注力しております。航空機整備事業では、機体整備の受注面での震災復興に加えて、ホイスト等装備品の海外修理の受注等による収益増強などに取り組んでおります。又、グループの共通課題である内部統制体制や人材育成などの経営基盤の強化に資する諸施策についても並行して推し進めております。

通期の見通しにつきましては、為替相場の趨勢を踏まえて下期の想定為替レートを1米ドル当たり90円から95円に変更し、今年5月に発表した通期の業績予想を昨年度並みの利益水準に引き上げ、11月1日に公表いたしました。なお、配当につきましては、期末10円/株(中間配当は無し)の期初予想を据え置いております。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月



代表取締役社長 鈴木善久

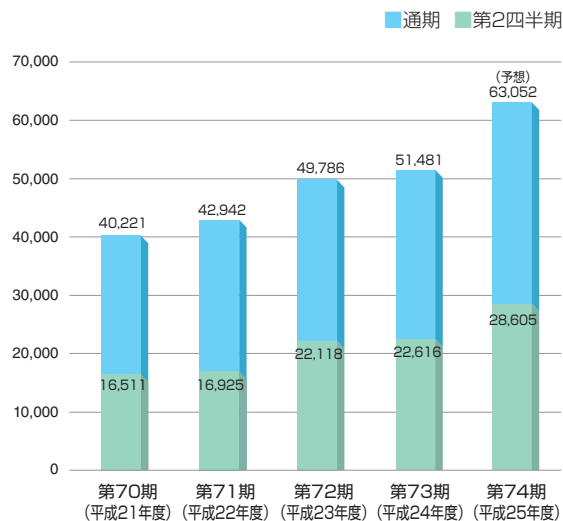
ジャムコ 経営理念

技術のジャムコは、士魂の気概をもって

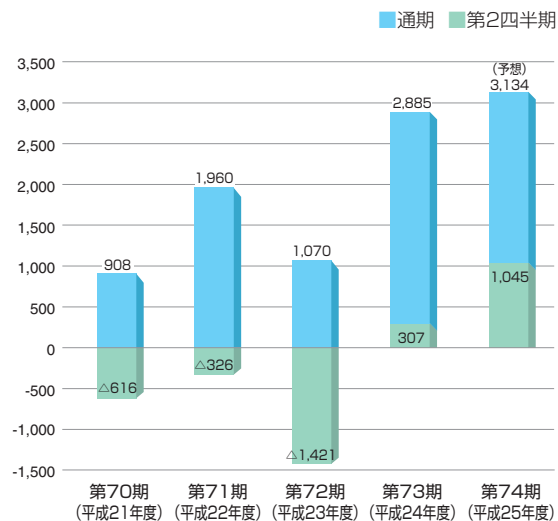
- 一、夢の実現にむけて挑戦しつづけます。
- 一、お客様の喜びと社員の幸せを求めていきます。
- 一、自然との共生をはかり、豊かな社会づくりに貢献します。

業績の推移(連結)

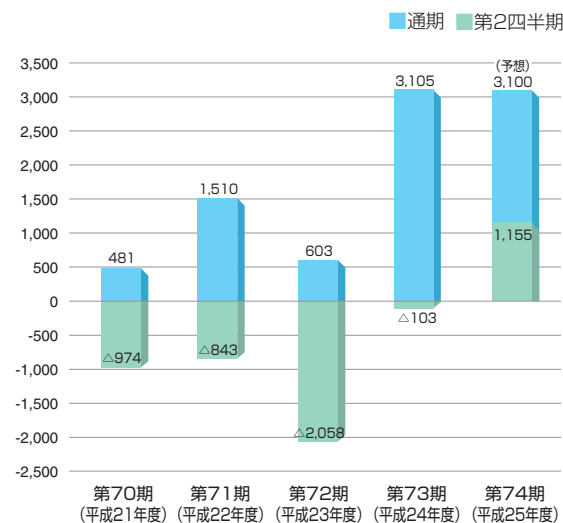
●売上高(単位:百万円)



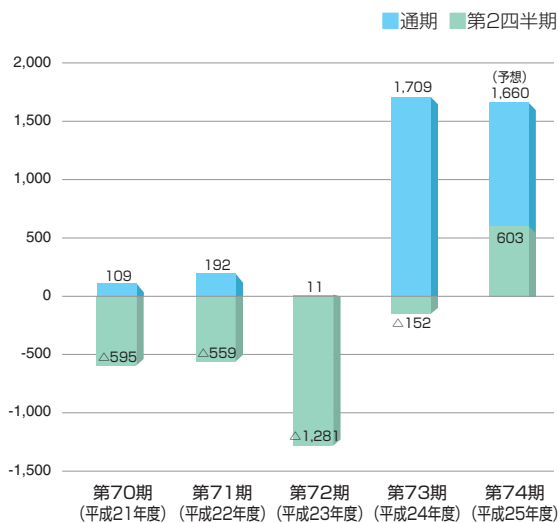
●営業利益(単位:百万円)



●経常利益(単位:百万円)



●純利益(単位:百万円)



当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間は、米国及び日本の景気回復が緩やかに進み、中国の景気も概ね安定的に推移し、又、欧州地域の一部には景気持ち直しの兆しも窺えました。対米ドル相場は円安傾向で推移しており、国内の輸出企業にとっては業績回復が期待できる状況となりました。

航空輸送業界では、格安航空会社（LCC）の台頭などによって競争は激化しており、大手航空会社では路線の再編や様々なサービス戦略を積極的に展開するなどの動きが続いています。又、エアライン各社は、原油価格の高止まりにより厳しい経営を強いられるなか、増加する航空旅客需要に対して燃費効率に優れる次世代航空機の導入を推し進めています。ボーイング社は、年内に787型機の生産を月産10機に引き上げることを目指しており、一方のエアバス社は、A350型機の初号機を翌年後半に航空会社へ引き渡す予定で試験飛行を続けています。両社ともにこれら次世代航空機を含めて受注残高は高い水準にあり、航空機メーカーの生産は更なる伸びが期待されています。

こうしたなか当社では、航空機内装品事業においては、787をはじめとした製品の増産対応、航空機用旅客シートの開発、生産を推し進めました。

航空機器製造事業においては、今年4月に操業開始した新工場（新会社）において、炭素繊維構造部材（ADP）及び民間航空機用エンジン部品の生産体制の早期安定に努めました。

航空機整備事業においては、機体整備の受注量確保、業績回復に努めると共に、装備品整備の効率化を目指して工場の統合を行い、人員及び設備等の再配置を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高 28,605百万円（前年同四半期比 5,988百万円増）、営業利益 1,045百万円（前年同四半期比 738百万円増）、経常利益 1,155百万円（前年同四半期比、経常損失 103百万円）、四半期純利益 603百万円（前年同四半期比、四半期純損失 152百万円）となりました。

航空機内装品等製造関連事業

当事業の方針

当社固有の技術と戦略的提携による他社の技術を総合的に融合し、航空機客室内の全装備品を網羅したトップメーカーを目指します。

当事業の業績の概要

当事業では、米国の連結子会社ジャムコアメリカにおいて、航空機用旅客シートの初期開発コストが増加しました。一方787ギャレー（厨房設備）やラバトリー（化粧室）の出荷増加、スペアパーツ販売の増加、為替相場が円安に推移したことなどから、前年同四半期に比べて売上高、経常利益ともに増加しました。

この結果、航空機内装品等製造関連は、売上高 22,810百万円（前年同四半期比 6,027百万円増）、経常利益 1,429百万円（前年同四半期比1,413百万円増）となりました。



エミレーツ航空B777-300ER機に搭載バーユニット



シンガポール航空B777-300ERに搭載
ビジネスクラスシート



シンガポール航空B777-300ERに搭載
ファーストクラスシート

航空機器等製造関連事業

当事業の方針

先端技術と熟練技能を融合させた高度な設計・生産技術を追求し、付加価値の高い製品及びサービスを顧客に提供します。

当事業の業績の概要

当事業では、炭素繊維構造部材（ADP）及び民間航空機用エンジン部品の工場移転後の操業が本格化し、生産量を伸ばしておりますが、熱交換器等の防衛関連部品の受注不足や民間航空機用エンジン部品を含めて新規開発品が集中したことによるコスト増などから、前年同四半期に比べて売上高は減少し、経常損失となりました。

この結果、航空機器等製造関連は、売上高 2,561百万円（前年同四半期比 121百万円減）、経常損失 144百万円（前年同四半期は、経常利益 252百万円）となりました。



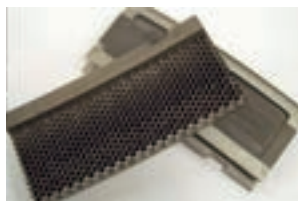
ADP・エンジン製造ライン



宮城県名取市の新工場



炭素繊維構造部材



エンジン部品

新工場生産部品の一例

航空機整備等関連事業

当事業の方針

飛行安全を基本に、継続性の高い事業を主体とすると共に、技術力主導の高付加価値を生む業務の比重を高めます。

当事業の業績の概要

当事業では、組織再編による効率化が進み、又、前期まで受注面で被災の影響が残った機体整備事業（仙台）が回復してきたことなどから、前年同四半期に比べ売上高、経常利益ともに改善しました。

この結果、航空機整備等関連は、売上高 3,233百万円（前年同四半期比 82百万円増）、経常損失 135百万円（前年同四半期は、経常損失 379百万円）となりました。



ヘリコプタの整備



プロペラの整備



リージョナル機の整備

連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表 (単位：千円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成25年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成25年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	51,406,873	49,745,039
現金及び預金	3,252,003	2,579,927
受取手形及び売掛金	15,681,681	17,757,273
商品及び製品	221,165	181,393
仕掛品	17,039,795	14,719,170
原材料及び貯蔵品	11,437,529	10,552,499
その他	3,890,360	4,082,281
貸倒引当金	△ 115,662	△ 127,505
固定資産	15,276,206	14,799,638
有形固定資産	10,230,794	10,032,725
無形固定資産	1,223,447	1,220,817
投資その他の資産	3,821,964	3,546,094
資産合計	66,683,079	64,544,678

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成25年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成25年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	38,905,599	36,278,985
支払手形及び買掛金	8,642,064	8,683,943
短期借入金	20,600,605	17,979,187
未払法人税等	766,802	1,548,252
賞与引当金	1,345,076	1,298,761
工事損失引当金	413,263	348,324
その他	7,137,787	6,420,515
固定負債	10,055,844	10,958,845
長期借入金	3,858,165	4,606,891
退職給付引当金	5,226,007	5,220,766
役員退職慰労引当金	291,932	449,461
執行役員退職慰労引当金	10,764	—
環境対策引当金	64,836	66,406
その他	604,137	615,318
負債合計	48,961,444	47,237,830
(純資産の部)		
資本金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,367,993	4,367,993
利益剰余金	7,679,756	7,344,165
自己株式	△ 29,696	△ 29,649
株主資本合計	17,377,947	17,042,402
その他の包括利益累計額	△ 11,381	△ 129,305
その他有価証券評価差額金	35,022	11,818
為替換算調整勘定	△ 46,404	△ 141,123
少数株主持分	355,069	393,750
純資産合計	17,721,635	17,306,847
負債純資産合計	66,683,079	64,544,678

■ 四半期連結損益計算書 (単位：千円)

科 目	当第2四半期連結累計期間		前第2四半期連結累計期間	
	平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
売 上 高	28,605,000	22,616,312		
売 上 原 価	24,443,286	19,714,351		
売 上 総 利 益	4,161,713	2,901,960		
販売費及び一般管理費	3,115,775	2,594,304		
営 業 利 益	1,045,938	307,656		
営 業 外 収 益	252,083	26,439		
受 取 利 息	418	871		
受 取 配 当 金	2,551	2,401		
為 替 差 益	146,205	—		
持分法による投資利益	35,435	113		
保 険 配 当 金	9,010	1,356		
助 成 金 収 入	5	10,745		
そ の 他	58,456	10,950		
営 業 外 費 用	142,253	438,031		
支 払 利 息	122,379	145,458		
為 替 差 損	—	285,427		
そ の 他	19,874	7,144		
経常利益又は経常損失(△)	1,155,767	△ 103,935		
特 別 利 益	54	824		
固 定 資 産 売 却 益	54	824		
特 別 損 失	194,027	32,246		
固 定 資 産 処 分 損	1,878	661		
投資有価証券評価損	—	31,585		
退 職 給 付 費 用	192,148	—		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	961,794	△ 135,357		
法人税、住民税及び事業税	656,189	278,197		
法人税等調整額	△ 260,963	△ 270,844		
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	566,569	△ 142,710		
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 37,279	9,321		
四半期純利益又は四半期純損失(△)	603,848	△ 152,032		

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：千円)

科 目	当第2四半期連結累計期間		前第2四半期連結累計期間	
	平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	171,668	53,065		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	961,794	△ 135,357		
減 価 償 却 費	860,727	665,851		
引当金の増減額(△は減少)	△ 46,611	476,878		
受取利息及び受取配当金	△ 2,970	△ 3,273		
支 払 利 息	122,379	145,458		
為替差損益(△は益)	163,991	21,424		
持分法による投資損益(△は益)	△ 35,435	△ 113		
売上債権の増減額(△は増加)	2,286,424	1,186,115		
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 3,071,794	△ 2,138,813		
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 122,718	△ 423,658		
そ の 他	587,423	417,846		
小 計	1,703,209	212,359		
利息及び配当金の受取額	22,315	15,767		
利 息 の 支 払 額	△ 140,711	△ 154,587		
そ の 他 の 収 入	45,282	19,528		
そ の 他 の 支 出	△ 18,246	△ 2,027		
法人税等の支払額	△ 1,440,181	△ 37,974		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 578,836	△ 1,859,492		
有形固定資産の取得による支出	△ 449,664	△ 1,677,015		
有形固定資産の売却による収入	54	824		
投資有価証券の取得による支出	△ 1,412	△ 1,342		
貸付金の回収による収入	1,733	6,206		
貸付けによる支出	△ 3,499	△ 1,487		
そ の 他	△ 126,046	△ 186,677		
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,066,097	812,328		
短期借入れによる収入	19,782,375	7,490,613		
短期借入金返済による支出	△ 17,962,149	△ 5,363,562		
長期借入れによる収入	—	1,200,000		
長期借入金返済による支出	△ 311,163	△ 2,324,966		
リース債務の返済による支出	△ 132,292	△ 108,525		
自己株式の取得による支出	△ 46	△ 342		
配当金の支払額	△ 267,208	△ 80,638		
少数株主への配当金の支払額	△ 43,416	△ 250		
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,145	△ 70,025		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	672,076	△ 1,064,123		
現金及び現金同等物の期首残高	2,579,927	2,902,373		
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,252,003	1,838,249		

株式の概況

■ 株式の状況（平成25年9月30日現在）

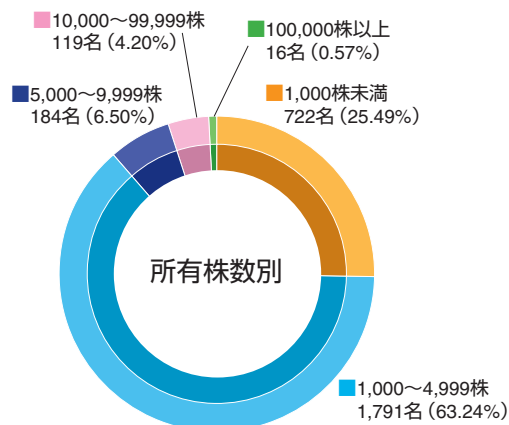
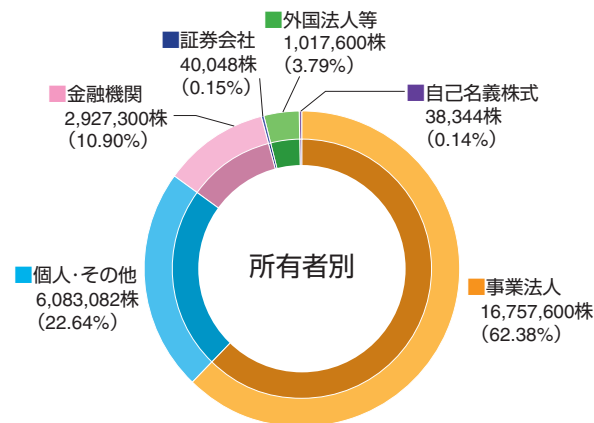
発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	26,863,974株
株主数	2,832名
上場証券取引所	東京証券取引所第2部（コード番号7408）

大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	8,901	33.13
ANAホールディングス株式会社	5,373	20.00
昭和飛行機工業株式会社	2,003	7.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,414	5.26
ジャムコ従業員持株会	632	2.35
ガンクオブニューヨークトリートリージャステックアカウント	309	1.15
三菱商事株式会社	221	0.82
株式会社みずほ銀行	200	0.74
株式会社三菱東京UFJ銀行	200	0.74
住友生命保険相互会社(特別勘定)	151	0.56

(注) 持株比率は、自己株式(38,344株)を控除して計算しております。

■ 株式分布状況



会社概況

■ 会社概要 (平成25年9月30日現在)

商号

株式会社ジャムコ

本社

東京都三鷹市大沢六丁目11番25号

設立年月日

昭和24年3月15日

創立年月日

昭和30年9月1日

主な事業内容

航空機内装品等製造関連事業

ギャレー、ラバトリー、ギャレー搭載用各種装備品等の製造

航空機器等製造関連事業

熱交換器、航空機用炭素繊維構造部材、民間航空機エンジン部品等の製造

航空機整備等関連事業

航空機の機体、客室、装備品等の整備・改造

資本金

5,359,893千円

従業員数

連結：2,429名

個別：1,162名

■ 役員 (平成25年9月30日現在)

取締役会長

寺田 修

代表取締役社長

鈴木 善久

代表取締役

河野 通秀

副社長執行役員

代表取締役

大倉 敏治

副社長執行役員

取締役常務執行役員

星野 信也

取締役常務執行役員

比留間 正和

取締役常務執行役員

関川 安雄

社外取締役

大上 克裕

社外取締役

松本 茂伸

監査役

白水 茂喜

社外監査役

穂山 健太郎

社外監査役

河村 寛治

執行役員

小澤 発雄

執行役員

木村 敏和

執行役員

浅利 和美

執行役員

青木 康成

執行役員

市原 一義

執行役員

鈴木 雅人

執行役員

加藤 正道

執行役員

政木 慎策

執行役員

粕谷 寿久

執行役員

田所 務

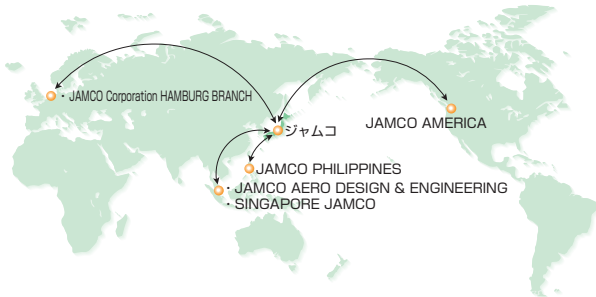
執行役員

後藤 健太郎

■ 子会社／関連会社の状況 (平成25年9月30日現在)

会社名	資本金	持株比率	主な事業内容
株式会社 新潟ジャムコ	300百万円	100%	航空機内装品製造
株式会社 宮崎ジャムコ	100百万円	100%	航空機内装品製造
株式会社 徳島ジャムコ	30百万円	100%	航空機、航空機整備品整備改造
株式会社 ジャムコ エアロテック	30百万円	100%	航空機、航空機整備品整備改造
株式会社 オレンジ ジャムコ	10百万円	100%	航空機部品の組立補助作業等 (障がい者特例子会社)
株式会社 ジャムコ テクニカル センター	30百万円	100%	航空機内装品及び航空機製造 の新技術、新製品の開発等
株式会社 ジャムコ エアロマニュファクチャリング	100百万円	100%	航空機器製造
JAMCO AMERICA, INC.	13,453千US\$	90%	航空機内装に関する業務 部品調達業務等
JAMCO AERO DESIGN & ENGINEERING PTE LTD.	1,000千US\$	※1 5%	航空機内装に関する技術業務
JAMCO PHILIPPINES, INC.	43,000千PHP	※2 40%	航空機内装品製造
※3 SINGAPORE JAMCO PTE LTD.	4,400千SG\$	30%	航空機内装品整備及び製造

※1 子会社の所有割合と当社の所有割合を合計した所有割合は55%であります。
 ※2 子会社の所有割合と当社の所有割合を合計した所有割合は100%であります。
 ※3 持分法適用関連会社であります。



■ 事業所一覧 (平成25年9月30日現在)

本社	[航空機整備カンパニー]
東京都三鷹市	部品整備工場
[航空機内装品カンパニー]	千葉県成田市
内装品工場	東京都調布市
東京都立川市	東京都大田区
[航空機器製造カンパニー]	機体整備工場
機器製造工場	宮城県岩沼市
東京都調布市	羽田事業所
	東京都大田区
	宮崎事業所
	宮崎県宮崎市
	帯広事業所
	北海道帯広市



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel.0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.pronexus.co.jp/koukoku/7408/7408.html (但し、電子公告によることが出来ない事故、その他の止むを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。) なお、計算書類及び連結計算書類に係る情報は、インターネット上の当社ウェブサイト (http://www.jamco.co.jp/) においてご覧いただけます。

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできません。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



<http://www.jamco.co.jp/>

お問い合わせ先 広報・IR 経営企画部 TEL0422-31-6112

株式会社 **ジャムコ**

本社 〒181-8571 東京都三鷹市大沢六丁目11番25号
TEL 0422-31-9111

